

平成30年12月27日

「そらいろ子ども食堂」の視察について

氏名 雲尾 周

- 1 訪問日 平成30年12月16日(日) 15:00~20:00
- 2 会場 白新コミュニティハウス(新潟市中央区白山浦2-180-3)
鏡淵小学校・白山市場に隣接
- 3 対象 運営代表(青陵大3年生)他
運営スタッフ、ボランティア、アドバイザー教員、参加者
- 4 運営団体 そらいろ子ども食堂運営委員会(正式名称不明)

5 活動の概要

- 月に1回(第一土曜日を原則)、だれでも参加可能な「子ども食堂」を開催する。新潟青陵大学・新潟県立大学の学生による、新潟県内唯一の学生主体の子ども食堂。
- 正副代表(3名)・企画係(4名)・ボランティア係(3名)・会計係(2名)・寄付係(1名)・広報係(2名)・調理係(5名)により運営(アドバイザー教員が各大学2名ずつ)。
- 月半ばに万代市民会館で会議を持つが、各大学内やLINE等で係ごとなどの打ち合わせを随時行う。

6 活動にみえる「次世代育成」

- いずれの大学の学生にとっても、専門で学んでいることとの結びつきの実感をもって活動している(子どもとの関わり、調理など)。
- 地域住民にとっても、新たなつながりが形成される活動。
- 教員にやらされている活動ではなく、学生が主体となって行っている活動のため、自ら成長している(青陵の学生が実施意思を示し、教員が支援するとともに知己の県立大学教員に参加を呼びかけ、そこから県立大学生へ紹介し、あとは常に学生主体で展開していく)。

7 今後に向けて

- 貧困・こ食(孤食他様々な「こ」)問題への対応としての子ども食堂であるが、誰でも参加可能にすることによって、明るく持続性のある取り組みになっている。社会教育事業としての対象設定の在り方が問われる問題である(事前リサーチを受けた隣接小学校PTA会長(当日参加者)との会話による)。
- 学生以外のボランティアも多いが、ロコミはやはり重要(歯科衛生士:父が大学職員。高校生:姉が活動。大学への進学も決定)。
- 鏡淵小学校隣接ではあるがリサーチ地域は広いし、西区・東区等からの参加者もある。広域からの参加者を集めるかどうか事業拡大・継続等の問題となる。

以上